



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月13日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8835 URL http://www.taiheiyo.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 幹介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上原 與章 TEL 03-5830-1602  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,450	0.0	402	11.1	380	12.4	164	27.1
25年3月期第2四半期	13,445	15.6	452	4.1	434	16.7	225	59.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 198百万円(-%) 25年3月期第2四半期 13百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.43	-
25年3月期第2四半期	3.33	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	36,524	13,323	35.4	190.68
25年3月期	35,007	13,263	36.8	190.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,929百万円 25年3月期 12,889百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	-	-	2.00	2.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	10.9	800	10.9	700	23.1	400	4.4	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	67,834,489株	25年3月期	67,834,489株
期末自己株式数	26年3月期2Q	29,921株	25年3月期	29,708株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	67,804,706株	25年3月期2Q	67,806,425株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了している。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成したものであるが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付書類）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により円安、株式市場が活況となる等景気回復の期待感が高まってきているものの、輸入原材料価格が高騰する等依然として先行き不透明な状況が続いている。

このような経済状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、前連結会計年度に竣工した北海道帯広市の分譲マンションを販売したことにより増収となったが、輸入炭販売数量が減少したことにより、売上高は134億50百万円（前年同期比0.0%増）とほぼ横ばいとなった。また、利益面については、シルバー事業の稼働率が落ち込んだことを中心に、営業利益は4億2百万円（同11.1%減）、経常利益は3億80百万円（同12.4%減）となり、四半期純利益は1億64百万円（同27.1%減）となった。

なお、セグメントの業績は次のとおりである。

#### 不動産セグメント

当第2四半期連結累計期間は、北海道帯広市の分譲マンションを販売したことにより、売上高は14億98百万円（対前年同期比11.3%増）となり、営業利益は3億84百万円（同18.9%増）となった。

#### 商事セグメント

主力事業である輸入炭の販売数量が減少したことにより、売上高は68億28百万円（同5.9%減）となり、営業利益は2億2百万円（同14.5%減）となった。

#### サービスセグメント

シルバー事業（東京地区）の稼働率は低下したが、給食事業他の売上高が増加したため、売上高は29億40百万円（同1.7%増）となったが、シルバー事業（東京地区）の固定費が負担となり、営業利益は1億13百万円（同42.0%減）となった。

#### その他のセグメント

炭カル肥料等の販売が回復したこと及び電気設備工事の受注も好調に推移し、売上高は21億83百万円（同11.8%増）となり、営業利益は77百万円（同45.0%増）となった。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、365億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億17百万円増加となった。この主な要因は、商品及び製品の輸入炭等が18億58百万円増加したことによるものである。

負債は、232億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億56百万円増加となった。この主な要因は、短期借入金が14億92百万円増加したことによるものである。

純資産は、四半期純利益1億64百万円を計上し、利益剰余金が増加したこと等により、133億23百万円（前連結会計年度比60百万円増）となった。また、自己資本比率は35.4%（前連結会計年度は36.8%）となった。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、48億89百万円となり、前第2四半期連結累計期間末に比べ55百万円減少となった。また、前連結会計年度末に比べ9億32百万円減少となった。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は20億20百万円（前年同期は5億18百万円の支出）となった。これは、主に事業活動に伴う商品及び製品の輸入炭等の購入によるものである。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億円（前年同期は1億94百万円の支出）となった。これは、主に固定資産の取得によるものである。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は16億88百万円（前年同期は6億42百万円の収入）となった。これは、主に借入金の増加によるものである。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想については、現時点で平成25年5月14日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はない。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,065	5,156
受取手形及び売掛金	3,203	3,114
販売用不動産	531	322
未成工事支出金	142	495
商品及び製品	3,005	4,864
原材料及び貯蔵品	149	136
その他	1,638	1,787
貸倒引当金	22	22
流動資産合計	14,713	15,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,188	4,331
土地	10,220	10,335
その他（純額）	806	854
有形固定資産合計	15,216	15,521
無形固定資産		
その他	77	69
無形固定資産合計	77	69
投資その他の資産		
投資有価証券	2,219	2,243
長期貸付金	263	254
差入保証金	1,974	2,113
その他	551	488
貸倒引当金	8	19
投資その他の資産合計	5,000	5,079
固定資産合計	20,293	20,671
資産合計	35,007	36,524
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,721	2,281
短期借入金	3,175	4,667
賞与引当金	229	228
じん肺補償損失引当金	4	4
その他	2,571	3,314
流動負債合計	8,702	10,496
固定負債		
社債	1,140	1,121
長期借入金	1,998	2,180

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受入保証金	4,285	4,279
退職給付引当金	677	677
債務保証損失引当金	1,283	1,308
資産除去債務	180	177
その他	3,476	2,959
固定負債合計	13,041	12,704
負債合計	21,744	23,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,782	3,782
資本剰余金	2,890	2,890
利益剰余金	4,409	4,438
自己株式	3	3
株主資本合計	11,078	11,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,147	1,158
土地再評価差額金	663	663
その他の包括利益累計額合計	1,810	1,821
少数株主持分	374	394
純資産合計	13,263	13,323
負債純資産合計	35,007	36,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,445	13,450
売上原価	11,470	11,582
売上総利益	1,975	1,867
販売費及び一般管理費	1,523	1,465
営業利益	452	402
営業外収益		
受取配当金	25	29
その他	65	60
営業外収益合計	91	90
営業外費用		
支払利息	68	77
その他	40	34
営業外費用合計	109	111
経常利益	434	380
特別利益		
固定資産売却益	12	5
投資有価証券売却益	13	-
その他	1	-
特別利益合計	27	5
特別損失		
固定資産除却損	13	7
投資有価証券評価損	30	-
債務保証損失引当金繰入額	87	25
その他	1	2
特別損失合計	132	34
税金等調整前四半期純利益	328	351
法人税等	87	168
少数株主損益調整前四半期純利益	240	183
少数株主利益	15	18
四半期純利益	225	164

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	240	183
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	253	15
その他の包括利益合計	253	15
四半期包括利益	13	198
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	175
少数株主に係る四半期包括利益	14	22

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	328	351
減価償却費	342	308
固定資産売却損益（は益）	12	4
固定資産除却損	13	7
受取配当金	25	29
受取利息	5	2
支払利息	68	77
投資有価証券売却損益（は益）	13	-
投資有価証券評価損益（は益）	30	-
売上債権の増減額（は増加）	377	88
たな卸資産の増減額（は増加）	1,416	1,989
仕入債務の増減額（は減少）	327	442
債務保証損失引当金の増減額（は減少）	87	25
その他	3	208
小計	105	1,402
利息及び配当金の受取額	31	32
利息の支払額	75	83
法人税等の支払額	113	66
法人税等の還付額	25	39
引受債務の支払額	492	540
営業活動によるキャッシュ・フロー	518	2,020
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	183	513
固定資産の売却による収入	24	10
投資有価証券の取得による支出	58	1
投資有価証券の売却による収入	18	-
定期預金の増減額（は増加）	9	23
その他	14	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	194	600
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の発行による収入	245	346
社債の償還による支出	124	156
短期借入れによる収入	2,842	3,925
短期借入金の返済による支出	2,120	2,459
長期借入れによる収入	400	507
長期借入金の返済による支出	437	298
配当金の支払額	135	135
その他	26	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	642	1,688
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	71	932
現金及び現金同等物の期首残高	5,016	5,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,945	4,889

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はない。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はない。

（セグメント情報等）

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,346	7,254	2,892	11,492	1,953	13,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	306	241	676	52	729
計	1,475	7,560	3,133	12,169	2,006	14,175
セグメント利益	323	236	195	756	53	809

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	756
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	8
全社費用（注）	366
四半期連結損益計算書の営業利益	452

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,498	6,828	2,940	11,266	2,183	13,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	417	286	832	61	893
計	1,627	7,245	3,226	12,099	2,244	14,344
セグメント利益	384	202	113	700	77	777

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	700
「その他」の区分の利益	77
セグメント間取引消去	6
全社費用（注）	382
四半期連結損益計算書の営業利益	402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はない。

(重要な後発事象)  
該当事項はない。